

鹿児島県南大隅町地域おこし協力隊 0B が制作した地域おこし協力隊の映画 「ひとしづく」について

○制作者プロフィール

山下 大裕 氏（鹿児島県南大隅町地域おこし協力隊 0B）



1992 年生まれ・福井県敦賀市出身・鹿児島県南大隅町在住。日本映画大学映画学部映画学科脚本演出コース 1 期卒業。20 歳の冬に地元敦賀を舞台にした映画『SNOWGIRL（2013 年）』を監督。その後、映画『弥生の虹（2015 年）』や敦賀市観光ショートムービー『いつか、きらめきたくて。（2017 年）』、オムニバス映画『#平成最後映画（2019 年）』の『変遷』を監督。2017 年 7 月より次回作制作のため鹿児島県南大隅町に移住し、地域おこし協力隊として映像での町おこしに力を注ぐ。

協力隊退任後も同町を拠点にし、官公庁や民間企業の各種動画制作や動画配信等を行う傍ら映画を行っている。

○映画「ひとしづく」について

本作は地域おこし協力隊を題材とした物語で、脚本執筆にあたり山下氏自身が 47 都道府県を軽自動車で巡り、総勢 200 名を超える協力隊や 0B・0G・行政職員に取材を行うなど、徹底的にリアルを追求した作品となっております。

映画の制作費は 2019 年に行ったクラウドファンディングの支援金やその後寄せられたご協賛金及び山下氏の自己資金で賄われております。2020 年春のクランクインを前に発生した新型コロナウイルス感染拡大により、撮影は 3 年延期となりましたが、2023 年に再始動し、完成の日を迎えることができました。映画の舞台は、山下氏の活動拠点である鹿児島県南大隅町となりますが、日本全国どこにお住まいの方でも共感できる要素を盛り込んでおり、協力隊や町おこしに関わる方はもちろん、そうでない方にもお楽しみいただける作品です。